



荒瀬かだまり

代表者 会長 佐々木 修
活動開始 令和2年
構成数 15人
活動拠点 北秋田市阿仁荒瀬

～景勝地“露熊山峡”の復活へ「露熊プロジェクト」の取り組み～

【活動のきっかけ】

荒瀬地区の住民が、かつての景勝地であった阿仁の露熊山峡を再び多くの人を訪れる場所にするため、令和2年5月から、「露熊プロジェクト」として環境整備等の活動を始めました。

【活動の内容】

「露熊プロジェクト」の活動は、毎年4月から11月まで、月1回のペースで実施し、露熊山峡の「歩道補修作業」、「木の伐採作業」、「林道整備作業」などを行っています。

15名の地区住民から始まった活動ですが、口コミやSNS等により徐々に参加者の輪が広がっていき、現在では地区外からのボランティア参加も増えて30名ほどで活動しています。目的の幅も広げ、当初目的である「景勝地復活」に加え、メンバーの少年期体験を子どもたちに追体験してもらい「愛郷心を育む」ことも目指しています。今後も、参加者の多様な視点やアイデアを大切にしながら活動を進めていきます。



「林道整備作業」



露熊山峡内「ナベ岩」